

「ライフ・イン・ハーモニー推進月間」について



法務省
MINISTRY OF JUSTICE | S A

世界をつなぐ。未来をつくる。
出入国在留管理庁
Immigration Services Agency

創設 背景

学校、職場、地域など社会の様々な場面において外国人に対する差別や偏見が少なからず生じている
→**外国人との共生社会の実現に向けた意識醸成が課題**

日本人と外国人との共生社会について考えるきっかけを提供し、共生社会に関する理解の促進を図ることを目的に
毎年1月を

啓発月間「ライフ・イン・ハーモニー推進月間」
(英語名：LIFE IN HARMONY PROMOTION MONTH)

と定め、同月間を中心に様々な啓発活動を実施

★推進月間中の主な取組★

①啓発イベントの開催

会場参加型イベント
**オール・トゥギャザー・
フェスティバル**
の開催

【目的】

イベントを通じ、多くの方々に「お互いに
思いやりを持つ」、「ルールを守る」など、
日本人と外国人との共生社会の実現には、
何が必要かを考えるきっかけを提供する

【令和7年度実施状況】

開催日：令和8年1月18日（日）

会場：東京・渋谷所在
「渋谷ストリームホール」

参加者数：約5,000人

企画内容：ステージ企画、ワークショップ、
ブース展示、飲食・物販コーナー等

②出前講座の実施

全国の小中高生等を対象に、
入管職員を学校に派遣して
共生施策ややさしい日本語等の
授業を実施

【目的】

今後の日本社会をつくる学生に対して、日
本人と外国人との共生社会に対する理解を
深めてもらうとともに当庁の業務について
知ってもらう

【令和7年度実施状況】

実施校：小学校62校、中学校32校、
高校21校、大学等4校
計119校

受講者数：約11,400人

③積極的な周知・ 広報活動の実施

関係機関等と連携を図りながら、
様々な媒体を活用した広報・周知
活動を実施

【目的】

様々な媒体で積極的に発信することで、多
くの方々に入管庁の取組の周知を図るとと
もに日本人と外国人との共生社会を考える
きっかけを提供する

【令和7年度実施状況】

- ・約2,300の関係機関にポスター等配布
- ・都内等約170の駅にポスター掲示
- ・都内3か所の街頭ビジョンで広報動画放映
- ・全国各地の多文化共生イベント等への参加